

本ガイドに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。All Rights Reserved, Copyright © 富士通株式会社 1998,1999

設置から運用まで

本サーバには、OSのインストールから必須のソフトウェア、ドライバ類を簡単にインストールすることができる「ServerWizard」が添付されています。  
ここでは、ServerWizardを使ってセットアップするときの流れを示します。

1

梱包物 / 添付品を確認する

→ 「第2章 設置と接続」の「2.1 梱包物の確認」

2

設置場所を確認する

→ 「安全上のご注意」、「第2章 設置と接続」

3

準備する

事前に以下のものを用意してください。  
・ServerWizardのCD-ROM（以降ServerWizard CDと記述します）  
・セットアップディスク（5枚）  
・工具（プラスドライバー）  
**重要** 本サーバに添付の以下のマニュアルを必ず準備してください。  
『ServerWizardでインストールしよう！』  
『ServerWizardソフトウェアガイド』

4

内蔵オプションを取り付ける

**重要** ServerWizardを使ってセットアップするときは、事前に取り付けられる内蔵オプションは決まっています。事前に取り付けることができない内蔵オプションは、ServerWizardを終了してから、取り付けてください。  
→ 『ServerWizardソフトウェアガイド』の「第1章 ServerWizard V1.0の概要」  
**注意** 内蔵オプションを取り付けるときは、取り付ける位置や順序、他のオプションとの同時搭載時の注意があります。参照箇所を熟読のうえ、以降の手順を実施してください。  
→ 「第5章 内蔵オプションの取り付け」、「各オプション装置の取扱説明書」  
**重要** 取り付けるオプション(PCIカード/ISAカード)の有無によって、設置手順が異なります。以下の手順にしたがって、取り付けてください。

取り付け内蔵オプションの中にPCIカード / ISAカードがない場合

1

設置 / 『5 周辺機器を取り付ける』に進む

決定した設置場所に、本サーバを設置します。  
→ 「第2章 設置と接続」

取り付け内蔵オプションの中にPCIカード / ISAカードがある場合

1

設置 / 仮接続

決定した設置場所に、本サーバを設置します。ディスプレイ、キーボード、マウスを接続します。  
→ 「第2章 設置と接続」

2

電源の投入 / ServerWizard CDのセット

電源を投入して、POST中にServerWizard CDをセットします。  
**注意** 誤ってハードディスクから起動されないように、安全のため、セットアップディスク#1をフロッピーディスクドライブにセットしてから、電源を投入してください。その後、必ず**ServerWizard CD**をセットしてください。  
  
なお、MS-DOSの起動は、本サーバ添付のセットアップディスク#2からも行うことができます。  
→ 「第3章 基本的な操作」

3

BIOSセットアップユーティリティ、ICUの実行

PCIカードに割り当てる資源をBIOSセットアップユーティリティで、ISAカードに割り当てる資源をICUで設定した後、ICUで確認します。ICUはServerWizardから起動します。  
→ 「第4章 セットアップ」の「4.4 BIOSセットアップユーティリティを使う」、または「4.6 ISAコンフィグレーションユーティリティ(ICU)を使う」

4

電源の切断 / ディスプレイとキーボードの取り外し

電源切断後、コンセントから電源ケーブルを抜き、ディスプレイとキーボードを取り外します。  
→ 「第2章 設置と接続」

5

内蔵オプションの取り付け

カバーを取り外し、オプションカード、オプション装置を取り付けます。  
→ 「第5章 内蔵オプションの取り付け」 / 『各オプション装置の取扱説明書』

6

カバーの取り付け / 『5 周辺機器を取り付ける』に進む

5

周辺機器を取り付ける

ディスプレイ装置、キーボード、マウスを本体装置に接続します。その他の周辺機器を取り付けます。  
→ 「第2章 設置と接続」の「2.3 接続方法」

6

各機器の取り付けを確認する

設置した装置にぐらつきがないこと、ケーブルが確実に接続されていることを確認します。

7

電源の投入 / ServerWizard CDのセット

電源を投入して、POST中にServerWizard CDをセットします。  
取り付けたメモリ総容量と同じ容量がディスプレイに表示されること、およびシステムが正常に起動することを確認します。  
**注意** 誤ってハードディスクから起動されないように、安全のため、セットアップディスク#1をフロッピーディスクドライブにセットしてから、電源を投入してください。その後、必ず**ServerWizard CD**をセットしてください。  
  
なお、MS-DOSの起動は、本サーバ添付のセットアップディスク#2からも行うことができます。  
→ 「第3章 基本的な操作」の「3.2 電源を入れる」

8

SCSIコンフィグレーションユーティリティを設定 / 確認する

**必須** 使用する内蔵ハードディスクおよびインストールするOSによってオンボードSCSIの設定を、確認または変更する必要があります。  
→ 「第4章 セットアップ」の「4.5 SCSIコンフィグレーションユーティリティを使う」

9

BIOSセットアップユーティリティを設定 / 確認する

**注意** 取り付けたオプション装置によって、BIOSセットアップユーティリティの設定値を、確認または変更する必要があります。  
→ 「第4章 セットアップ」の「4.4 BIOSセットアップユーティリティを使う」  
『各オプション装置の取扱説明書』

10

ServerWizardを実行する

ServerWizardを実行します。ServerWizardを実行すると、OSのインストールおよびシステムに必須のソフトウェア（Servervisorなど）がインストールされます。  
→ 『ServerWizardでインストールしよう！』  
『ServerWizardソフトウェアガイド』  
「6.6 Servervisor / Intel LANDesk® Server Manager について」および「Servervisorのオンラインマニュアル」

11

その他の内蔵オプションを取り付ける

ServerWizard実行前に取り付けられなかった内蔵オプションを取り付けます。  
『4 内蔵オプションを取り付ける』を再度実行してください。

12

UPS（無停電電源装置）の取り付け

**条件** UPSを接続する場合  
→ 『UPSの取扱説明書』

13

システム設定情報を退避する

「BIOS Environment Support Tools」を用いて、システムの設定情報を退避するとともに、コンフィグレーションシートに装置の運用状態を記入するようにしてください。  
記入したコンフィグレーションシートは、紛失しないように大切に保管してください。  
システムに異常が発生したときやオプションの増設時に参考になります。  
→ 「4.7 BIOS設定情報およびICU設定情報の退避 / 復元」  
「付B.1 コンフィグレーション・シート」

14

運用開始

サーバ本体前面

サーバ本体背面

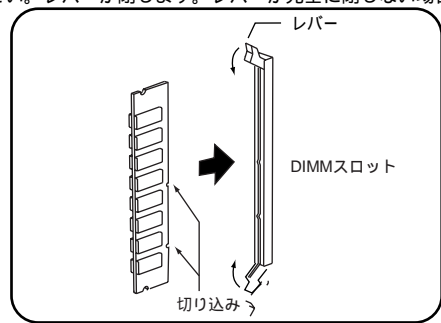
1/4

## DIMMスロット

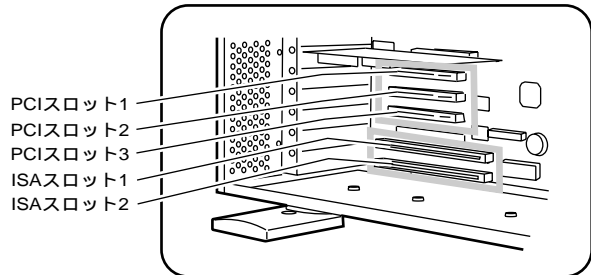
DIMMスロットには、拡張RAMモジュールを増設することができます。

- ・拡張RAMモジュール64MB(GP5-RM64F)
- ・拡張RAMモジュール128MB(GP5-RM12F)
- ・拡張RAMモジュール256MB(GP5-RM25F)

拡張RAMモジュールの取り付けは、コンタクト部分の切り込みで向きを判断して、DIMMスロットに正しく挿入してください。レバーが閉じます。レバーが完全に閉じない場合は、指で押してください。



## 拡張スロット



## 拡張カードの搭載条件

### 搭載枚数制限

搭載カード		バス	搭載枚数	備考
SCSIレイトゥーカード SCSIレイトゥーカード	GP5-141A GP5-142	PCI PCI	最大2 最大1	内蔵・外付けアレイシステム用 内蔵アレイシステム用、 GP5-143と同時搭載不可 内蔵アレイシステム用、 GP5-142と同時搭載不可
SCSIレイトゥーカード	GP5-143	PCI	最大1	外付けSCSI装置用、GP5-ML301接続用
SCSIカード SCSIカード	GP5-121 GP5-125	PCI PCI	最大3 最大3 合計最大3	外付けSCSI装置用、GP5-ML301接続用
LANカード (10BASE-5/2/T) LANカード (100BASE-TX /10BASE-T)	GP5-181 GP5-182	PCI PCI	最大3 最大3	
LANカード (1000BASE-SX) LANカード (100BASE-TX /10BASE-T)	GP5-183 GP5-184	PCI PCI	最大1 最大3	
ATM-LANカード MSLキット	FMV-187 FMS-193	PCI PCI	最大1 最大1 合計最大3	
RS-232Cカード	GP5-162	PCI	最大2	OSがNetWareの場合は最大1、 FMV-165と同時搭載不可 FMV-166と同時搭載不可 FMV-167と同時搭載不可
ISDNカード 通信カードV/X ISDN接続G3/G4FAX通信カード サバル モニタージュール	GP5-165 GP5-163 GP5-161 GP5-SM102	PCI PCI PCI PCI	最大2 最大2 最大3 最大1 合計最大3	GP5-SM101と同時搭載不可
サバル モニタージュール RS-232Cカード ISDNカード 通信カードV/X FAXモデムカード 音声処理モード	GP5-SM101 FMV-165 FMV-166 FMV-167 FMV-FX531 FMV-FH718	ISA ISA ISA ISA ISA ISA	最大1 最大2 最大2 最大2 最大2 最大1 合計最大2	GP5-SM102と同時搭載不可 GP5-162と同時搭載不可 GP5-165と同時搭載不可 GP5-163と同時搭載不可

## PCIスロットの搭載位置とIRQ制限

・各拡張カードは次の表の左側の拡張カードから優先して使用し、数字の順にスロットを使用してください。

スロット	サーバモニタ モジュール  GP5-SM102	SCSIアレイ コントローラカード		SCSICカード  GP5-121 GP5-125	LANカード  GP5-181 GP5-182 GP5-183 GP5-184 ATM-LANカード FMV-187 MSLキット FMS-193	その他の PCIカード
		GP5-142 GP5-143 (*)	GP5-141A			
PCIスロット1	1	-	-	3	1	1
PCIスロット2	-	1	1	2	2	2
PCIスロット3	-	-	2	1	3	3

-: 搭載不可を示す

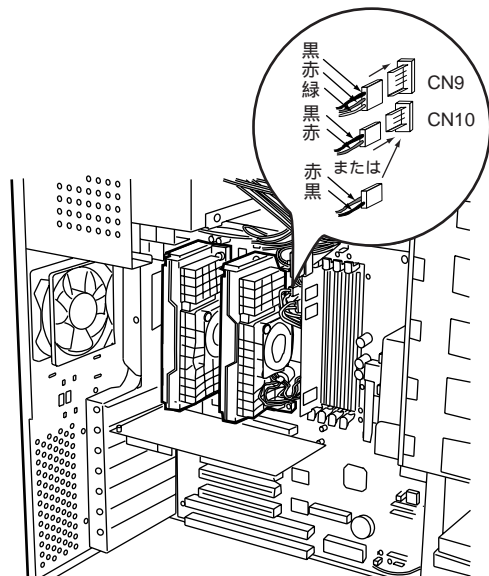
\* ) GP5-142とGP5-143は同時搭載不可

- ・ SCSIアレイコントローラカードは、SCSIアレイコントローラカード同士でIRQを共有します。
- ・ SCSIアレイコントローラカードは、他の拡張カードとIRQは共用できません。
- ・ SCSIカード(GP5-121/GP5-125)使用時は、SCSI SelectユーティリティでHost Adapter BIOS (Configuration Utility Reserves BIOS Space)の機能を無効化(Disabled)してください。
- ・ SCSIアレイコントローラカード(GP5-143)を使用する場合は、搭載する前にSCSIアレイコントローラカード(GP5-143)のJP10がオープンに設定されていることを確認してください。
- ・ LANカードおよびオンボードLANのIRQを共有するときは、ご使用になるOS毎に注意事項があります。  
[WindowsNT Server 4.0またはSBS 4.0の場合]
  - オンボードLANは、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
  - LANカード同士(GP5-181/GP5-182/GP5-183/GP5-184)でIRQを共有できます。ただし、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
  - ATM-LANカード(FMV-187)は、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
- ・ [IntranetWare(2CPU構成)の場合]
  - オンボードLANは、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
  - LANカード同士(GP5-181/GP5-182/GP5-184)でIRQを共有できます。ただし、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
  - LANカード(GP5-181/GP5-182/GP5-184) / オンボードLANは、IRQレベル7および15を使用しないでください。
  - ATM-LANカード(FMV-187)およびMSLキット(FMS-193)は、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
- ・ [NetWare3.2JおよびIntranetWare(1CPU構成)の場合]
  - オンボードLANは、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
  - LANカード同士(GP5-181/GP5-182/GP5-184)でIRQを共有できます。ただし、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
  - ATM-LANカード(FMV-187)およびMSLキット(FMS-193)は、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
- ・ プリントポート、シリアルポートを使用しないときはBIOSセットアップユーティリティで該当ポートを『Disabled』に設定することによって、そのIRQを流用することができます。

## CPUスロット

CPUフィールドグレードアップキット(GP5-FG10B/GP5-FG10C/GP5-FG10G/GP5-FG10N/GP5-FG10W/GP5-FG10V)を使用して、最大2個までCPUを搭載することができます。

CPUを増設する場合は、CPUスロット2に搭載されているCPUターミネータカードを取り外します。  
CPUフィールドグレードアップキットを取り付け、ケーブルを種類および方向を間違えないように以下のように取り付けます。



## コンフィギュレーションジャンパ

ジャンパ番号	ジャンパの設定（ショートの設定）
JP4	2-3/5-6（工場出荷設定値 / 変更不可）
JP5	1-2（工場出荷設定値 / 変更不可）
JP6	2-3（工場出荷設定値 / 変更不可）
JP7	1-2 BIOS起動時にパスワードによるセキュリティ機能を有効にする
	2-3 BIOS起動時にパスワードによるセキュリティ機能を有効にしない（工場出荷設定値）
JP8	1-2（工場出荷設定値 / 変更不可）

## 内蔵オプションの設定

### ストレージベイと内蔵オプション

本サーバは、3種類のストレージベイに、それぞれ以下の内蔵オプションを取り付けることができます。

ストレージベイ	内蔵オプション
5インチストレージベイ	内蔵CD-ROMドライブユニット（標準搭載） 内蔵DATユニット 内蔵光磁気ディスクユニット 内蔵1/4インチCRMTユニット 内蔵TRAVAN NSユニット
3.5インチストレージベイ（ホットプラグベイ）	内蔵ハードディスクユニット（ホットプラグ対応）
3.5インチストレージベイ（ノンホットプラグベイ）	内蔵ハードディスクユニット（ノンホットプラグ対応）

### ストレージベイとSCSI-ID

内蔵オプションのうち、内蔵SCSIオプションは、ストレージベイに取り付けるまえに下表のとおり、対応したSCSI-IDに設定してください。ただし、ホットプラグベイに取り付ける場合は、SCSI-IDの設定は自動的に行われるため、不要です。

[FDタイプ/OSインストールタイプ]

ストレージベイ	ベイ番号	SCSI ID	標準搭載の内蔵オプション
5インチストレージベイ	1	-	内蔵 CD-ROMドライブユニット（IDE規格）を標準搭載
	2	4	
	3	5	
3.5インチストレージベイ ホットプラグベイ	4	1	内蔵ハードディスクユニット（SCSI規格）の場合
	5	2	
	6	3	
3.5インチストレージベイ ノンホットプラグベイ	7	0	内蔵ハードディスクユニット（IDE規格）の場合 （OSインストールタイプで標準搭載）
		-	

[アレイタイプ]

ストレージベイ	ベイ番号	SCSI ID	標準搭載の内蔵オプション
5インチストレージベイ	1	-	内蔵 CD-ROMドライブユニット（IDE規格）を標準搭載
	2	4	
	3	5	
3.5インチストレージベイ ホットプラグベイ	4	1	内蔵ハードディスクユニット（SCSI規格）を標準搭載 内蔵ハードディスクユニット（SCSI規格）を標準搭載 内蔵ハードディスクユニット（SCSI規格）を標準搭載
	5	2	
	6	3	
3.5インチストレージベイ ノンホットプラグベイ	7	0	

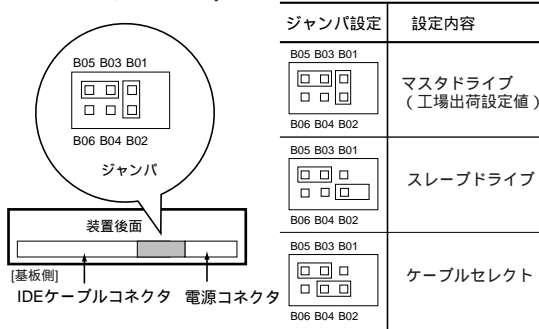
## 内蔵ハードディスクユニット

IDE規格の内蔵ハードディスクユニットの設定

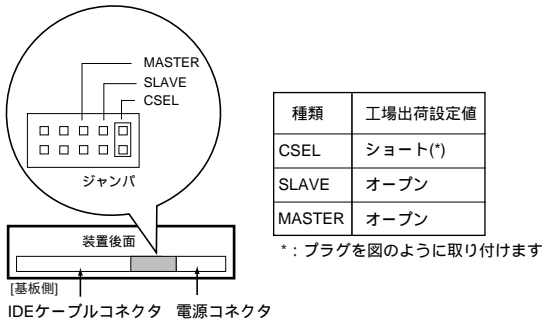
IDE規格の内蔵ハードディスクユニットは、OS インストールタイプに標準で搭載されている装置で、特に設定を変更する必要はありません。

本サーバに搭載されている内蔵ハードディスクユニットには、以下に示す2種類があります。

[本サーバの型名：GP528W1N3, GP528W1ND3, GP528W1M3, GP528N1N3, GP528N1ND3, GP528N1M3, GP528V1N3, GP528V1ND3, GP528V1M3]



[本サーバの型名：GP528N1S2, GP528N1Yxx, GP528B1S, GP528B1Yxx, GP528C1S2, GP528C1Yxx, GP528D1S, GP528D1Yxx]

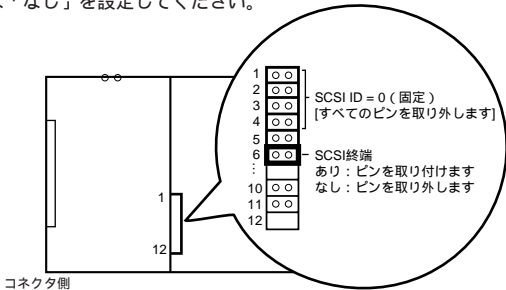


SCSI規格の内蔵ハードディスクユニット(GP5-HD4G5/GP5-HD9G2)

内蔵ハードディスクユニット(GP5-HD4G5/GP5-HD9G2)は、ノンホットプラグベイへの取り付け用のハードディスクユニットです。

SCSI-ID=0になるように設定してください。

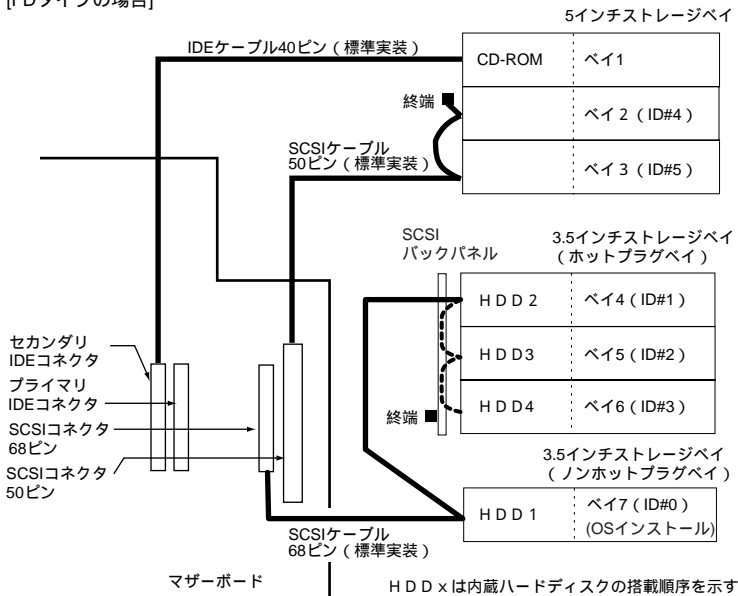
SCSI終端は、ノンホットプラグベイにのみ内蔵ハードディスクユニットを接続する場合には「あり」を、それ以外の場合には「なし」を設定してください。



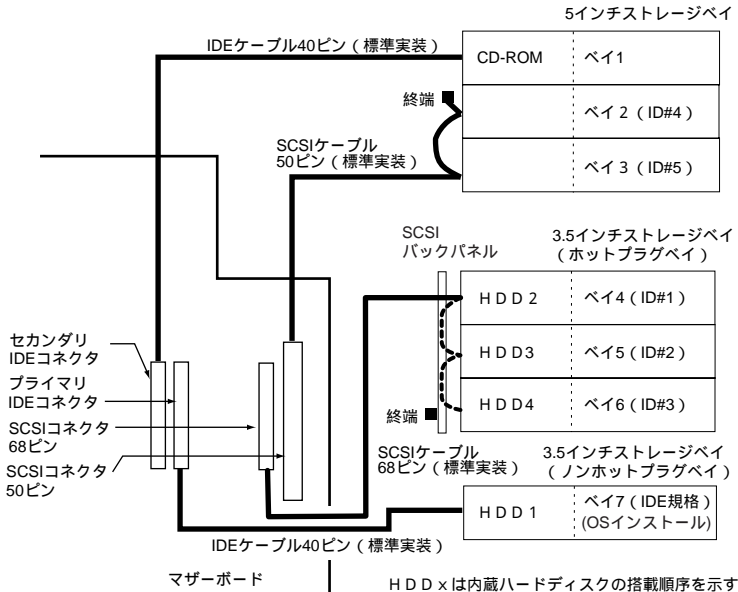
### 内部ケーブルの接続

内部ケーブルを、ストレージベイに取り付けられた内蔵オプションにそれぞれ接続します。各タイプの接続形態を以下に示します。

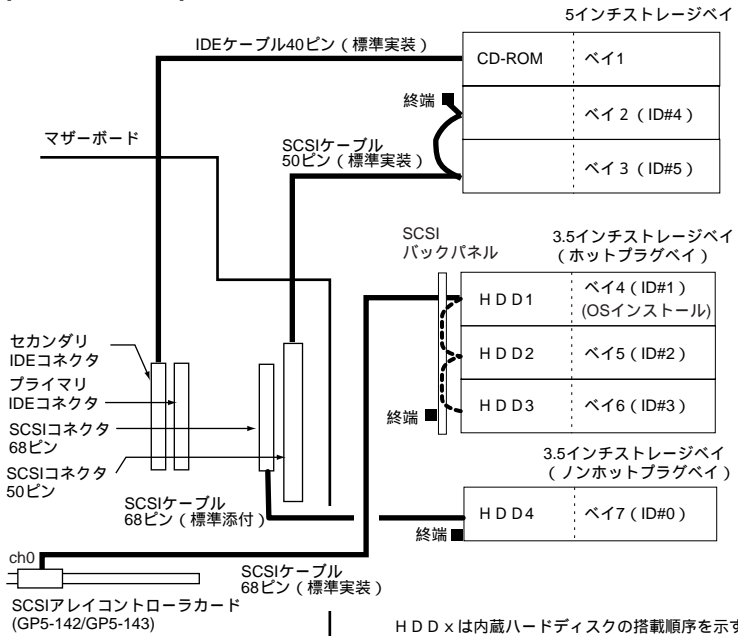
[FDタイプの場合]



[OSインストールタイプの場合]



[アレイタイプの場合]





BIOSセッティングユーティリティ

電源投入またはリセットし、POSTが終了すると、画面に「Enter Setup,Press Ctrl\_Alt\_Esc Key」が表示されます。  
ここで[Ctrl]+[Alt]+[Esc]キーを押すと、BIOSセッティングユーティリティが起動されます。  
以下に工場出荷設定値を示します。

Disk Drivesメニュー	
Floppy Drive A	: 1.44MB 3.5-inch
Floppy Drive B	: None
IDE Primary Channel Master	
Type	: Auto
Hard Disk Block Mode	: Auto
Advanced PIO Mode	: Auto
Hard Disk Size > 504MB	: Auto
Hard Disk 32 Bit Access	: Enabled
CD-ROM Drive DMA Mode	: Enabled
IDE Primary Channel Slave	
Type	: Auto
Hard Disk Block Mode	: Auto
Advanced PIO Mode	: Auto
Hard Disk Size > 504MB	: Auto
Hard Disk 32 Bit Access	: Enabled
CD-ROM Drive DMA Mode	: Enabled
IDE Secondary Channel Master	
Type	: Auto
Hard Disk Block Mode	: Auto
Advanced PIO Mode	: Auto
Hard Disk Size > 504MB	: Auto
Hard Disk 32 Bit Access	: Enabled
CD-ROM Drive DMA Mode	: Enabled
IDE Secondary Channel Slave	
Type	: Auto
Hard Disk Block Mode	: Auto
Advanced PIO Mode	: Auto
Hard Disk Size > 504MB	: Auto
Hard Disk 32 Bit Access	: Enabled
CD-ROM Drive DMA Mode	: Enabled

Power Managementメニュー	
Power Management Mode	: Enabled
IDE Hard Disk Standby Timer	: OFF
System Sleep Timer	: OFF
Stop CPU Clock in Sleep State	: No
Power Switch < 4sec.	: Power Off
Wakeup Event	
Modem Ring	: Disabled

Startup Configurationメニュー	
Fast POST Mode	: Disabled
Silent Boot	: Disabled
Num Lock After Boot	: Enabled
Memory Test	: Enabled
Partial Test	: Enabled
Release All Blocked Memory	: Disabled
Configuration Table	: Enabled
Initialize SCSI Before IDE	: Disabled
System Boot Drive	: Drive A Then C
Boot from IDE CD-ROM	: Enabled
Boot from LANDesk(R) Service Agent	: Disabled
Boot from Onboard SCSI Device	: Enabled (FDタイプ/OSインストールタイプの場合) Disabled (アレイタイプの場合)

Advanced System Configurationメニュー	
Onboard Devices Configuration	
Serial Port 1	: Enabled
Base Address	: 3F8h
IRQ	: 4
Serial Port 2	: Enabled
Base Address	: 2F8h
IRQ	: 3
Parallel Port	: Enabled
Base Address	: 3BCh
IRQ	: 7
Operation Mode	: Standard
ECP DMA Channel	: -(表示のみ)
Onboard Floppy Disk Controller	: Enabled
Onboard IDE Primary Channel	: Enabled
Onboard IDE Secondary Channel	: Enabled
Onboard PS/2 Mouse (IRQ 12)	: Enabled
Onboard USB	: Disabled
USB Legacy Mode	: Disabled
Onboard SCSI	: Enabled
Onboard SCSI terminator	: Enabled
SCSI initialization and IRQ assignment	: Enabled
Onboard Ethernet Chip	: Enabled
SMBUS Interrupt (IRQ9)	: Enabled
PnP/PCI System Configuration	
PCI IRQ Setting	: Manual
PCI Slot 1	: --
PCI Slot 2	: --
PCI Slot 3	: --
Onboard SCSI	: 11
AGP	: --
Onboard LAN	: 10
PCI Device Latency Timer	: 20
PCI IRQ Sharing	: Yes
VGA Palette Snoop	: Disabled
Graphics Aperture Size	: 64
Plug and Play OS	: No
Reset Resource Assignments	: No
Memory Cache Configuration	
Internal Cache (CPU Cache)	: Enabled
Cache Scheme	: Write Back
System BIOS Cacheable	: Enabled
Video BIOS Cacheable	: Enabled
Memory at 15MB-16MB Reserved for	: System
Memory Mode	: ECC+Scrubbing
Single Processor MP Table	: Enabled

( 続き )

CPU Speed Configuration	
Bus Frequency	: 100MHz
Multiple	
	: 3.5 ( 350MHzプロセッサ搭載時 ) 4 ( 400MHzプロセッサ搭載時 ) 4.5 ( 450MHzプロセッサ搭載時 ) 5 ( 500MHzプロセッサ搭載時 ) 5.5 ( 550MHzプロセッサ搭載時 )
Processor Speed	: プロセッサ動作周波数
System Event Configuration	
System Event Logging	
Event Log BIOS Version	: イベントログBIOS版数表示
Total Event Log Number	: 格納済みイベントログ数表示
Remain of Event Log Area	: 残りイベントログ格納領域%表示
Event Logging	: Enabled
Clear Event Log	: Disabled
>View Event Logs	: イベントログ参照メニュー起動
Event Control	
Temperature/Voltage/Fan	: Enabled
ECC	: Enabled
PCI	: Enabled
I/O Check	: Enabled
Critical Event Process	
Stop POST After CPU or Memory Reduction	: Disabled
Halt System If No CPU or Memory Available	: Enabled
Non-stop mode during POST	: Disabled
Threshold Setting	
CPU Warning Temperature	: 67
CPU Fatal Temperature	: 72
System Temperature	: 49
System Voltage	: 10
Chipset Configuration	
SDRAM CAS Latency	: 3CLKs
SDRAM RAS to CAS Delay	: 2CLKs ( Pentium <sup>®</sup> III搭載タイプの場合 ) 3CLKs ( Pentium <sup>®</sup> III搭載タイプの場合 )
SDRAM RAS Precharge Time	: 2CLKs ( Pentium <sup>®</sup> III搭載タイプの場合 ) 3CLKs ( Pentium <sup>®</sup> III搭載タイプの場合 )
Multi-Transaction Timer Count Value	: 32CLKs
Processor Serial Number	: Disabled
INTEL SMM Card Configuration	
INTEL SMM Card	: Disabled
I/O	: -
IRQ	: -
Memory	: -
DMA	: -

System Securityメニュー	
Disk Drive Control	
Floppy Drive	: Normal
Hard Disk Drive	: Normal
Setup Password	: None
Power-on Password	: None
Operation Mode	: Normal

Date and Timeメニュー	
Date	現在の日付が表示
Time	現在の時刻が表示

SCSIコンフィグレーションユーティリティ

電源投入またはリセットし、POSTが終了すると、画面に「Press Ctrl\_C to start to Configuration Utility ...」が表示されます。  
ここで[Ctrl]+[C]キーを押すと、SCSIコンフィグレーションユーティリティが起動されます。  
以下に工場出荷設定値を示します。

Mainメニュー	
Change Adapter Status	
Change Status on Next Boot	: Next-Boot:On
Adapter Boot Order	本サーバでは、選択できません。
Additional Adapter Configuration	本サーバでは、選択できません。
Display Mode	: Verbose
Mono/Color	: Mono
Language	本サーバでは、選択できません。

Utilityメニュー	
Adapter Setup	
SCAM Support	: Off
Parity	: On
Host SCSI ID	: 7
Scan Order	: Low to High (0..MAX)
Removable Media Support	: None
CHS Mapping	: SCSI Plug and Play Mapping
Spinup Delay(Secs)	: 2
Device Selections	
Dev0 ~ 15	N/A
Sync Rate(MegaBytes/sec)	: 40
Width(bits)	: 16
Disconnect	: On
Read Write I/O Timeout(secs)	: 10
Scan for Device at Boot Time	: yes
Scan for SCSI LUNS	: yes
Queue Tags	: On
Initial Boot Device	: No